

1.計画名称

茅野市環境基本計画

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	これまでの期間を総括すると、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民参加による各種事業の中止や縮小を余儀なくされた一方で、各施策を推進するため、野立て太陽光発電設備の抑制や資源物分別収集品目の拡大、再生可能エネルギーや省エネ対策の普及啓発などの取組により、設定した目標指標を概ね達成した。
今後の重点化施策番号	4	説明	ゼロカーボンの取組による省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入、二酸化炭素吸収対策などは、地球温暖化防止のほか、産業振興や森林保全などにもつながるので、茅野市ゼロカーボン戦略を中心に進める。また、これからのまちづくりの重点施策の1つとして、茅野市の総合戦略にも位置付けられているため。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	自然の恵みを大切に受け継ぐまち ー良好な自然環境の確保ー	おおむね順調	市民参加による山岳の美化活動、里山の森林保全、里地の外来種駆除などを継続的に取り組むことができた。 地域の景観保全等のために条例を改正し、野立て太陽光発電設備の設置を抑制した。	コロナ後のイベント活動は再開しているが、各団体の会員の高齢化や担い手不足が深刻化している。 会の中心となっている方が固定化されており、会と一緒に年を重ねてしまっている状況である。活動団体を長期的に維持するには担い手の新規参加が欠かせない。	イベントの参加に繋がる、参加者が楽しめるような内容を検討し、継続的な情報発信に取り組んでいく。里山のイベントも米沢と永明、両方の小学校に対してメール等の周知を行い、参加者の増加を狙う。
2	安全で人にやさしいまち ー安全な生活環境の確保ー	順調	軽微な公害苦情等については即時解決させ、長引きそうなものについても年度内解決を目標に取り組んでいる。 合併処理浄化槽の法定検査率は順調に上昇している。	人口減少による空き家や空き地など所有者が不在の土地が発生源とする苦情の増加が課題となっている。また、住居地と農業との混在による野焼きなどに対する苦情も多い。 騒音、大気汚染については、法的な規制はクリアしているが、市民感情で苦情を相談されるケースがほとんどである。	近所同士のトラブルにおいては、申立者の言い分だけを聞くのではなく実際に状況を確認し、公平性のある対応に努めなくてはならない。 空き家等については、他部署と連携し対応にあたる。
3	環境への負荷が少ないまち ー循環型社会の構築ー	やや遅れている	9種類19品目の資源物分別収集による資源化や剪定木等のウッドチップ化、木製家具類の資源化などを実施してきた。その中で、ごみ減量化に対する市民の意識が高まってきたことから、ごみの排出量は減少傾向で推移した。また、茅野環境館は、施設の老朽化により令和5年度末で閉館したことから、新たな取組を検討している。	ごみステーションを管理する環境自治会役員等の負担が大きくなっている。また、リサイクル率が上がっていない。地域柄事業系ごみが多いが、事業者への啓発が十分に行えていない。	環境自治会役員等の負担軽減策を検討する。 美サイクル茅野と協働して、ごみ減量化、資源化に向けた新たな取組を検討する。 事業者向けのパンフレット等を作成し、事業系ごみの分別、資源化を促す。 事業系ごみの手数料改定、家庭系ごみの有料化を計画的に進める。
4	地球環境にやさしいまち ー低炭素型まちづくりー【茅野市減CO ₂ 計画】	おおむね順調	R3年度から実施している既存住宅エネルギー自立化補助金について、対象設備の拡大などの影響により、申請件数は伸びている。 また、ゼロカーボン社会の実現に向けた推進計画として、ゼロカーボン戦略の策定に着手した。	アフターコロナに突入し、施設利用やイベント、出張の増などにより、エネルギー消費量が増加することが見込まれる。 省エネ施策に対する職員の意識の引き締めが必要ではないか。	施設の利用方法に関する省エネに関する取組の見直し、出張の必要性等について再度検討を促す。 ・全庁的な脱炭素への意識の醸成として、策定したゼロカーボン戦略について、関係部署と連携した取組を意識しながら進めていく。
5	協働で環境づくりに取り組むまち ー連携・参加と環境学習ー	遅れている	コロナ禍により、各種行事の中止や縮小により、計画どおり事業実施できず、中期目標として設定した各行事の参加者が達成できなかった。	市民参加による行事を通じて、今後も地域の環境保全活動や環境美化活動を継続していく必要がある。	市民・事業者・滞在者・市の各主体が参加し、協働で環境保全に取り組むために、活動への協力呼びかけを継続していく。

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

関連市民団体等名称		主な意見	市の考えや対応など
環境審議会		基本計画の指標・目標値の一部見直しが必要ではないか。	基本計画は計画期間の中間を迎えているため、審議会からの意見を反映させ、第2次茅野市環境基本計画の改定を進めている。
開催回数	3		
参加延べ人数	30		